

私たち今日から松浦党！

松浦市観光大使・福岡都市圏シティプロモーション推進員 地域おこし協力隊員

市役所で10月1日、松浦市観光大使の中野ちさとさん（ビューティー・クリエイター、写真右から2人目）、福岡都市圏シティプロモーション推進員の金高愛さん（フードコーディネーター、写真中央右）、地域おこし協力隊員の中村友香さん（コミュニケーションデザイナー、写真中央左）に委嘱状が交付されました。

これから3人はそれぞれ専門的な知識を生かし、松浦の魅力をPRしていきます。



おいしいトラフグはいかがですか？

トラフグ料理教室

新松浦漁業協同組合（志水正司代表理事組合長）が主催するトラフグ料理教室が10月6日、松浦市漁村体験学習施設で開催されました。

この教室は、養殖トラフグの「身欠き」を家庭で簡単に調理し、手ごろな価格で食卓に取り入れてもらおうと企画され、市内から19人の参加がありました。

参加した人たちは、「いつも料理している魚に比べて身がしっかりしていて、弾力がある。刺身や唐揚げ、鍋などいろいろな調理法を学べて楽しい時間でした」と話しました。



中秋の名月をお茶で楽しむ

松浦茶道連盟

松浦茶道連盟（三宅宗瑠代表）主催による「第4回観月の茶会」が9月27日、文化会館イベント広場で開催されました。

中秋の名月を眺めながら、多くの人に日本の伝統文化である茶道を身近なものとして気軽に楽しんでもらおうと開催。この日は、家族連れや友人同士など約300人の市民が参加しました。参加者たちは、茶道連盟会員がたてた抹茶を味わいながら、美しい月を眺めて秋の夜長を楽しみました。



感謝の気持ちを込めて

星鹿少年ソフトボールクラブ

星鹿少年ソフトボールクラブが9月29日、羽黒神社周辺の清掃活動を行いました。

同クラブは、長与南少年ソフトボールクラブと30年以上交流を続けており、市内で開催されるソフトボール大会の際には、同クラブが長与南少年ソフトボールクラブの宿泊所として利用されていることから、歓迎と同神社への感謝の気持ちを込めて毎年清掃を行っています。

この日参加した部員たちは、竹ぼうきなどを手に境内や参道の落ち葉を掃き集め、心を込めて清掃を行いました。



母子保健推進会議会長表彰

松浦市母子保健推進員の寺澤慶子さん（写真左）と久家美保子さん（写真右）が10月9日、平成27年度健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）で公益社団法人母子保健推進会議会長表彰を受賞しました。

寺澤さんと久家さんは、平成11年から松浦市母子保健推進員として活動。各種相談・健診、母子保健推進員主催の「おもちゃ作りの会」開催など、母親が安心して相談できる環境づくりに大きく貢献し、本市の母子保健事業の普及と発展に尽力され、今回の受賞となりました。

二人は、「今後も、子育ての不安やストレスを抱えた母親の皆さんに、一歩踏み出してもらえるようお手伝いをしていきたい」と話しました。

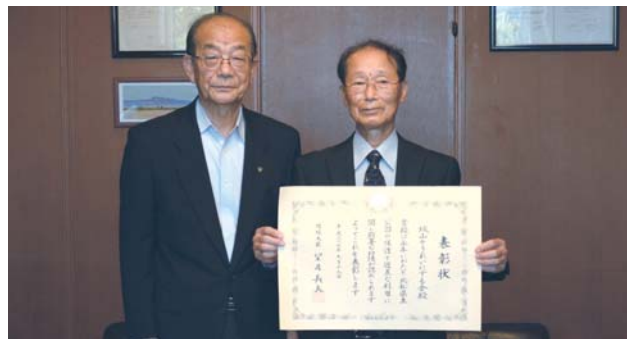


平成27年度自然公園関係功労者環境大臣表彰

城山をきれいにする会（辻仁会長）が9月19日、西海国立公園指定60周年記念式典で平成27年度自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞しました。

同会は、平成15年から星鹿城山自然公園の伐採、除草、不法投棄の管理、花壇整備、登山道への手作り灯籠設置、元旦の「手作り灯籠・初日の出ウォーキング」の開催など、星鹿城山自然公園の環境ならびに魅力の保全と向上に努めてきました。この功績が認められ、今回の受賞となりました。

同会の辻会長は、「若手の会員も加わり、現在は20人の会員で活動しています。今後も無理せず続けていきたい」と話しました。



優良運転者表彰

優良運転者表彰と感謝状贈呈式が9月21日、松浦警察署で行われました。

優良運転者表彰は、一般財団法人全日本交通安全協会会長から、運転免許を取得後、永年無事故・無違反で他の模範となっている優良運転の人に贈られる表彰で、浦國男さん（星鹿町・星鹿）と七浦貞義さん（志佐町・池成）が交通栄誉章緑十字銅章を受けられました。

また、昭和57年に結成した「横辺田女性ドライバーズクラブ」は、長年、地域の交通安全活動に取り組み交通事故防止に大きく貢献した功績が認められ、松浦地区交通安全協会と松浦警察署から感謝状が贈られました。



平成27年度ながさき・おもてなし表彰

青島小中学校が9月4日、平成27年度「ながさき・おもてなし表彰」長崎県総おもてなし運動推進会議会長賞を受賞しました。

毎週火曜日の朝、同校の全児童生徒がフェリー乗り場で来島される観光客や釣り客、島で働く人をあいさつで出迎えておもてなしをしています。この功績が認められ、今回の受賞となりました。

生徒会長としてみんなをまとめている川下綾菜さん（青島中3年）は、「あいさつやハイタッチをすることで地域の人や来島される人とコミュニケーションを取ることができ、交流を深めています。毎週楽しみながら活動しています。これからも続けていきます」と話しました。

